

The 40th 第40回東京モーターショー2007

TOKYO MOTOR SHOW 2007 News vol.10



世界に、
未来に、
ニュースです。

Catch the News,
Touch the Future.

平成19年11月3日

スズキ

「大きな未来」へ 新たな挑戦がスタート



第3ステージの世界戦略車のベースモデルとなる
「コンセプト Kizashi 2」

スズキのショー展示は野心的だ。「小さなクルマ、大きな未来」という出展テーマは不変だが、その「大きな未来」へ向けて、新たな挑戦を開始しようとしている。

「コンセプト Kizashi 2」(コンセプト キザシ 2)。津田社長が「スズキが変わる、というキザシを感じていただきたい」とメッセージを発した新カテゴリーのクロスオーバースポーツワゴンのコンセプトモデル(世界初出品)。トップアスリートの強靱(じん)な体が発する躍動感と風格をデザイン表現したというボディシルエットは、男性的な存在感にあふれ、ステータスをも感じさせる。ボディサイズは全長4,650×全幅1,950×全高1,500ミリ、ホイールベース2,850ミリ。エンジンは米国仕様車「XL7」に搭載実績を持つスズキ最大排気量の3.6リッターV型6気筒。6速AT、i-AWDとの組み合わせで高速クルージングやオフロードなど、オールロードでのスポーティなハンドリングを楽しむことができる。

スズキはこれまでにコンパクトサイズのスポーティな「SWIFT(スイフト)」、「SX4」、小型SUV「ESCUDO(エスクード)」を世界戦略車の第1ステージに、次いで来春から欧州市場に登場する予定のファミリー層をユーザーターゲットにしたコンパクト車「SPLASH(スプラッシュ)」(海外生産車)をその第2ステージに位置付けてきた。

そして、今年9月のフランクフルトモーターショーで発表したオンロードタイプの「Concept Kizashi」と今回の「Kizashi 2」をベースに、新たなスズキのフラッグシップモデルとなる「第3ステージの世界戦略車の完成をめざす」(津田社長)という。開発取り組みには環境に配慮したハイブリッドエンジンの搭載も視野に入れているようだ。

この新領域への挑戦が、ワールドワイドなスズキのブランド戦略にどう投影されてくるのか、に注目したい。



近未来の都市交通モビリティ「PIXY」と移動ユニット「SSC」



歩道も屋内もスイスイの「PIXY」

「コンセプト Kizashi 2」の他に、スズキブースにはワールドプレミア(世界初出品)の多様なクルマが4台展示されている。

その中でも来場者の人気を集めているのが、“SUSTAINABLE MOBILITY(サステナブルモビリティ)”と呼称する新しい都市交通を生み出す近未来の移動ツール。時速6キロの1人乗り低速移動ツール「PIXY(ピクシー)」と、このツールと合体して自動車としての移動を可能にする軽自動車型の移動ユニット「SSC(スズキ・シェアリング・コーチ)」とでワンセットに。

卵型をした「PIXY」は電動式で、360°定点回転ができ、ボディには人肌のようなソフトな衝撃吸収素材を使用、運転者の

走行意志を発光変化などで知らせるなど“人に、環境にやさしい乗り物”だ。「SSC」の方は燃料電池車で2人乗り。「PIXY」を2台搭載できる設計になっている。

同じくワールドプレミアの参考出品車「X-HEAD」は、1.4リッターエンジンをミッドシップに配置、4WDシステムにLSDセンターデフ方式を採用し、オン/オフロードでの走破性、操縦安定性を求めた2人乗りのクロスユーティリティビークル。特徴は何といても用途に応じて後部荷台ユニットを換えられるというコンセプトにある。大人2人が寝泊まりできる“キャンパー”や救難・救助の“レスキュー”など様々な荷台ユニットの開発が、クルマ自体の魅力を増すことになる。



クロスユーティリティビークル「X-HEAD」



ゆとり空間の軽ワゴン「PALETTE」

早ければ来春には市場投入が期待される「PALETTE(パレット)」は、仲間と一緒に楽しみたい若者をターゲットにした軽ワゴン。スズキで最長のホイールベース(2,400ミリ)、低床プラットフォームと背高ボディ、360°パノラマビューが楽しめる広大なガラスエリアなどで、開放感にあふれたゆりの室内空間を生み出している。後部両側はパワースライドドア、後席のダイブダウンを格納すると広大なラゲッジルームとなるのも大きな特徴だ。



コンパクトワゴン「SPLASH」(欧州生産車)

他に、欧州生産車(ハンガリー工場)で来春から現地発売する5ドア・ハッチバックのコンパクト車「SPLASH」、2008年シリーズからWRC(世界ラリー選手権)への本格参戦に備えたレーシングモデルの「SX4 WRC 2007」なども参考出品している。



プレスブリーフィングから

「スズキが変わる」というキザシを感じて欲しい

スズキ
津田 紘 社長

スズキは「世界の市場に向け、新しいクルマ作りに挑戦する」という想いを込めたモデルを、今年9月に開催されたフランクフルトモーターショーで「Concept Kizashi」として発表しました。そしてここで、新たなデザイン、ジャンルの異なるモデルを「コンセプト Kizashi 2」として披露させていただきます。

近い将来、この2台をベースに新たなクルマ作りの夢を実現するべく開発を進め、世界戦略車として完成させます。この「コンセプト Kizashi 2」をご覧頂き、「スズキが変わる」というキザシを感じて頂きたいと思っています。

GM 新型キャデラックなど08年モデルが注目浴びる

ゼネラル・モーターズはキャデラック、シボレー、ハマー、サーブの4ブランドを1ブースにまとめて出展。メインステージ上には、フルモデルチェンジされ2代目に進化したスポーツセダンキャデラック「CTS」2008年モデルが展示されている。ハイパワーな3.6リッターV6直噴ガソリンを搭載するなど新技術を多数投入、デザインも左右ホイール間を広く取ったことで、より安定感を増したものとなっている。エンジンが一新されたシボレー「コルベット・コンバーチブル」、右ハンドルが追加されたSUV、ハマー「H3」など、他の展示車両もすべて2008年モデルだ。

▼シボレー
「コルベット・コンバーチブル」



▲ハマー「H3」



キャデラック「CTS」

サーブ

スカンジナビア流「9-3」もフルチェンジ



サーブのミドルクラスモデル「9-3」の新型モデルが、東京モーターショーの会場で日本のユーザーに初公開された。デザインコンセプトは「スカンジナビア流モダンデザイン」。



06年に登場したコンセプトモデル「エアロX」の流れをくむ個性的なフロントマスクをはじめ、全身で新世代サーブらしさを表現している。

クライスラー

クライスラー、ジープ、ダッジの3ブランド展示

東ホールのクライスラーブースは、従来のクライスラー、ジープに、今年日本デビューを果たしたダッジを加え、3ブランドがそろい踏みした華やかな展示となっている。ジャパンプレミアのクライスラー「グランドボイジャー」は“動くリビングルーム”としての機能が満載。同じくジャパンプレミアのジープ「チェロキー」は、デザイン、メカニズムともアップデートされたオールニュー。新ブランドのダッジは「ナイトロ」「チャージャー」など現行モデルのほか、2.4リッターエンジンを搭載した魅力的なオープンスポーツコンセプト「デーモン コンセプトカー」を出品している。



CHRYSLER



ジープ「チェロキー」



クライスラー「グランドボイジャー」



◀ダッジ「ナイトロ」



ダッジ「デーモン コンセプトカー」

グランツーリスモ 5 プロローグ

すべてが超リアル !!
PS3向け最新GTの人気沸騰



中央モールの東ホール前に開設された「グランツーリスモ 5 プロローグ」：次世代カーライフ体感アリーナは連日、多くの来場客の熱気に包まれている。レーシングゲーム「グランツーリスモ」シリーズは以前から人気のあるソフトだったが、12月発売予定の「グランツーリスモ 5 プロローグ」はソニー・コンピュータエンタテインメントの最新ゲーム・プラットフォーム「PS3」の能力を大いに活用、動きから映像まで、すべてが超リアルに仕上がっているという。そのすごさを早くも体感できることに加え、今回の東京モーターショーで発表された旬な新車を運転できるとあって、アリーナは開場直後からプレイを希望する人の列ができるほどの人気の高さ。ゲーム好きの人ならずとも、プレイしてみる価値は十二分にある。



究極のリアルさに大人も子供も大いにエキサイト

SPECIAL

「スロットカー・サーキット」オープン 気分はF1レーサー キミは琢磨選手を超えられるか?

北ホール2階・キッズパークがちびっこレーサーたちで燃え上がっている。実車の32分の1の走るプラモ(スロットカー)のレーシングサーキットを新設。連日、子供たちが熱いレースを繰り広げている。スロットレーシングは、直線や曲線のパーツを組み合わせてコースを設計し、その上でスロットカーを走らせて競争するゲーム。スロットカーはガイドの溝に従って進み、手元のコントローラーでマシンのスピードをコントロールする。

会場での1回のフリー走行は3分程度だが、操作はシンプルでアクセルのみ。初体験の「レーサー」でも1~2周もすればすぐに慣れ、子供たちも「走る喜び」を十分に体感できる。小学生以下なら誰でも順番待ちで参加できるが、「土日は30分以上待つこともある」(係員)と大人気だ。



TOPICS

乳児・幼児サービスセンター 授乳室から託児所まで充実サービス

子供連れの来場客へのホスピタリティ向上のため、北ホール2階のキッズパークエリア内に「乳児・幼児サービスセンター」が設置されている。乳児のおむつ替え、授乳、お昼寝のための専用室が設けられ、自由に利用可能となっているほか、3~6歳の幼児を最大2時間無料で預けることができる託児所も開設。専門のベビーシッターが見守るなか、子供たちはブロックやプラレール、ぬいぐるみなどで遊びながら、パパ、ママの帰りを待つことができる。



ご利用をお待ちしています



OMCとのタイアップで首都高ETCカードをピーアール

首都高がその場で楽しめる「首都高検定」を実施

首都高道路(株)が中央モール2階東ゲート近くで、来秋実施予定の距離別料金制度をテーマとした自社ブースを展開している。料金の5%キャッシュバックなど、いちばんおトクに首都高を走れる「首都高ETCカード」や、ETCを付けなくても距離別料金を電子マネーカードで差額決済できるシステム「首都高X」(開発コード名)を分かりやすく説明。また、首都高のマメ知識を競う「首都高検定(1~3級)」を行っており、お客さんが続々と挑戦中だ。参加者にはもちろんプレゼント・グッズが用意されている。

EVENT

今日のイベント(予定)

11月3日
(土・祝)

<ライフスタイルパーク(西休憩ゾーン)>

- **ダブルダッチ**
10:45~11:15/15:15~15:45
- **トライアルデモンストレーション**
11:30~12:00/14:30~15:00
- **千葉県管音楽隊 演奏**
12:00~13:00
- **エコドライブ・コーナー**
~シミュレーター体験&トークショー~
13:15~14:30
- **WHO「運動器の10年」キャンペーン トークショー**
16:00~17:00
- **シンポジウム**(国際会議場2階 国際会議室)
14:00~15:30
「走る気もち、ひろがる世界」~福祉車両のある豊かな生活~

- **少年少女モーターサイクルスポーツスクール**(中央休憩ゾーン)
午前の部: 10:00~12:05 (試乗券配布 9:30~)
午後の部: 14:00~16:05 (試乗券配布 12:30~)
- **スロットカー・サーキット**
9:30~19:00 (北ホール2階・キッズパーク)
- **ミニシアター~クルマの夢・楽しさ・素晴らしさ~**
10:40~12:25/13:05~18:30 (国際会議場3階 302号室)
- **4x4 アドベンチャー同乗試乗会**
11:00~16:00 (幕張海滨公園Gブロック内 特設専用コース)
- **セーフティドライブ体験試乗会**
11:00~16:00 (幕張海滨公園Gブロック内 特設専用コース)
- **クリーンエネルギー車同乗試乗会**
11:00~16:00 (幕張海滨公園D・Eブロック内 特設専用コース)
- **商用車同乗試乗会**
11:00~16:00 (幕張メッセ周辺公道
幕張メッセ南休憩ゾーン東側通路発着 東ホール東側)

※試乗券配布場所: 幕張メッセ南休憩ゾーン西側 ※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。



KONICA MINOLTA

毎分**65枚フルカラー**出力 印刷から加工までインラインで高速処理。
※A4ヨコ 多様なニーズに応えるハイパフォーマンス。

The essentials of imaging



フルカラー・オンデマンド高速印刷システム ON DEMAND PUBLISHER C65

このニュースは、コニカミノルタ
ON DEMAND PUBLISHER
C65で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
プロダクションプリント事業部
TEL 03-5205-7820
URL <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

The 40th

TOKYO MOTOR SHOW 2007

11月2日の入場者数 **74,900 人**

入場者数累計 **564,600 人**

東京モーターショーニュースVol.10 2007年11月3日発行

発行所 社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館
TEL.03-5405-6119 FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com

JAMA